



令和4年4月25日(月)

校長室より⑬



こんにちは。

4月22日の新聞(千葉日報)1面のコラム「忙人寸語」の欄に、次のようなことが書いてありました。

「なぜ雨の日を天気が悪いと言うんですか?」。通勤中の車内でよく聞くラジオ番組「子ども科学電話相談」に寄せられた少女からの質問。回答者の気象予報士が不思議に思ったり理由を尋ねると、「雨が好きて言う人もいるから」。思わずうなった▼立場や状況によって、物の見方は180度変わる。洗濯物が乾かず厄介と思うこともあれば、日照り続きで「恵みの雨」になることも。気象予報士は、さまざまな立場の人がいるため、放送では雨の日を「天気が悪い」とは言わないで説明していた▼(中略)▼事実の一つでも、その受け取り方は一つとは限らない。少女の質問を聞き、物事を多角的に見る大切さを改めて痛感した。

友達と遊んでいるとき、自分は「ふざけて」したことが、相手を傷つけていることがあります。「いじめられた」と思ってしまう人もいるかもしれません。「自分が楽しいこと」が「友達も楽しいこと」ではない。ということをおぼわすようにしてください。自分の行動をいつも相手の立場にもなって考えられるようになってほしいと思います。

私は「カレーライス」が大好きですが、中には嫌いな人もいますよね。「ブロッコリー」が苦手ですが、大好きな人もいますよね。好きなもの、苦手なものも人それぞれです。